

2025 年度国際教養学部 FD 活動方針・活動計画

1. 2025 年度国際教養学部 FD 活動方針

2025 年度の国際教養学部 FD 活動方針は、以下の二つにまとめられる。

(1) 昨年度から着手している学部の理念の再確認と共有、新ディプロマ・ポリシーやカリキュラムポリシーとの整合性、ならびに学部の強みを生かす教育体制の整備をさらに進める。2026 年度からのカリキュラム改正を視野に入れて、FD 研修会を年数回実施し、より具体的な意見交換を行う。

(2) 2025 年度は、演習が 3～4 年次の 2 年間の履修体制となり 2 回目のサイクルとなること、また演習・卒論指導の経験のない新任教員を新たなメンバーとして迎え入れることもあり、これまで取り組んできたディプロマ・ポリシーに基づく学修成果の適切かつ多角的な把握・評価をめざす活動を継続するとともに、2 年間に渡る教育・指導に関わるテクニックやノウハウを共有する。

2. 2025 年度国際教養学部 FD 活動計画

(1) カリキュラム改正を視野に入れた意見交換。

学生の関心の移り変わりや教員構成の変容を踏まえ、国際教養学部の理念や強みを再確認したうえで、より適切で効果的な学修機会を提供できるよう、カリキュラム改正を含めて自由に議論できる場を設ける。

(2) 演習・卒論指導の向上を通じて、卒業時のアウトカム（卒業論文）の向上をめざす。

教員間で卒業論文のテーマや内容を共有する報告会の実施、卒業論文を国際教養学部のアーカイブとしてデジタル保存し、さらに各ゼミから選出した優秀論文を学部生に公開する体制は数年前から整備されてきた。2025 年度はこれを継続するだけでなく、今年度から新たに卒論指導を担当する教員や数年後から担当する予定の教員がよりスムーズに取り組めるよう、有益なテクニックやノウハウを共有する場を設け、学部全体としての教育指導体制の質の向上をめざす。

以上